

河原町埋蔵文化財調査報告書 第5集

鳥取県河原町
片山遺跡発掘調査報告書

1990. 3

河原町教育委員会

序 文

この報告書は、国道53号河原バイパス建設に伴い平成元年度に実施した八頭郡河原町大字片山地内に所在する埋蔵文化財の調査記録であります。

今回の調査は、試掘調査であり資料等記録的に満足しうる報告書とは言えませんが、地権者の方々のご理解と、調査関係各位のご指導ご協力によりここに報告書を発行する運びとなりました。

この調査にあたり、鳥取県教育委員会文化課、鳥取県埋蔵文化財センターをはじめ関係各位のご指導、ご協力に対し厚くお礼を申し上げますとともにこれをステップとして今後本町の文化財保護活動にいっそうの努力を重ねてまいる所存であります。

1990年3月

河原町教育委員会

教育長 蓮 佛 傳

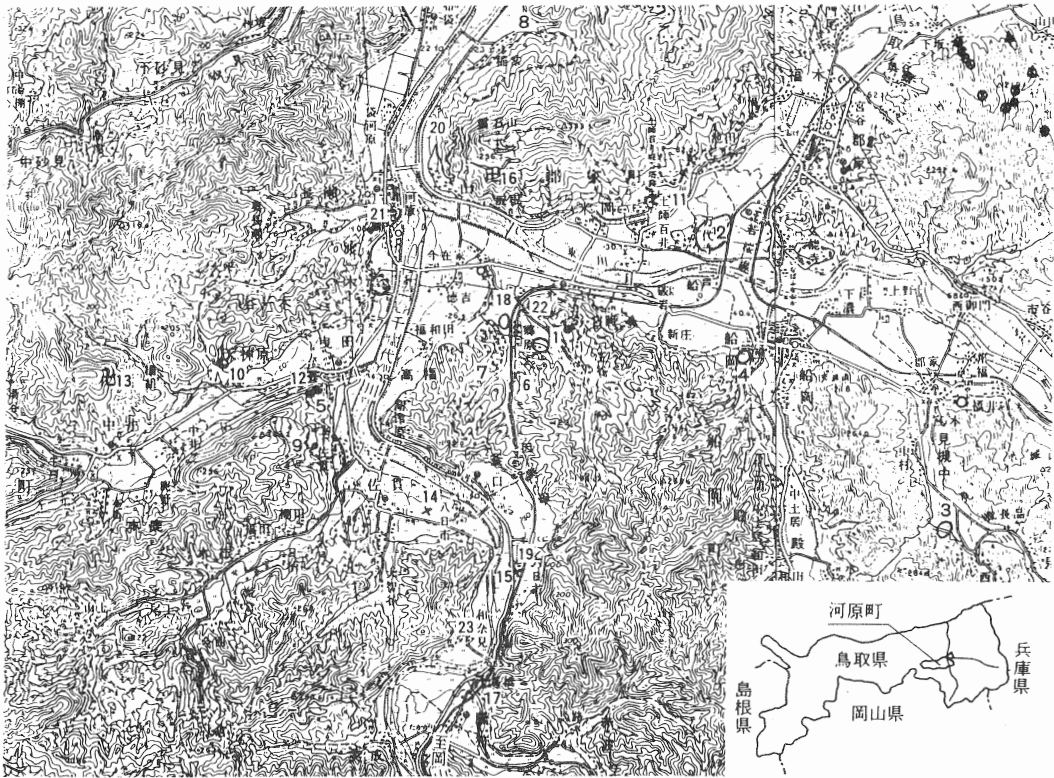
本 文 目 次

I	位置と環境	1
II	調査に至る経過	2
III	調査の概要	2
1	概 略	2
2	トレンチ調査状況	2
3	遺構について	4
4	遺物について	5
IV	まとめ	9

I 位置と環境

片山遺跡は、鳥取県八頭郡河原町大字片山に所在し、因幡国のほぼ中央に存在する霊石山の南西麓、北流する千代川の東岸に位置している。

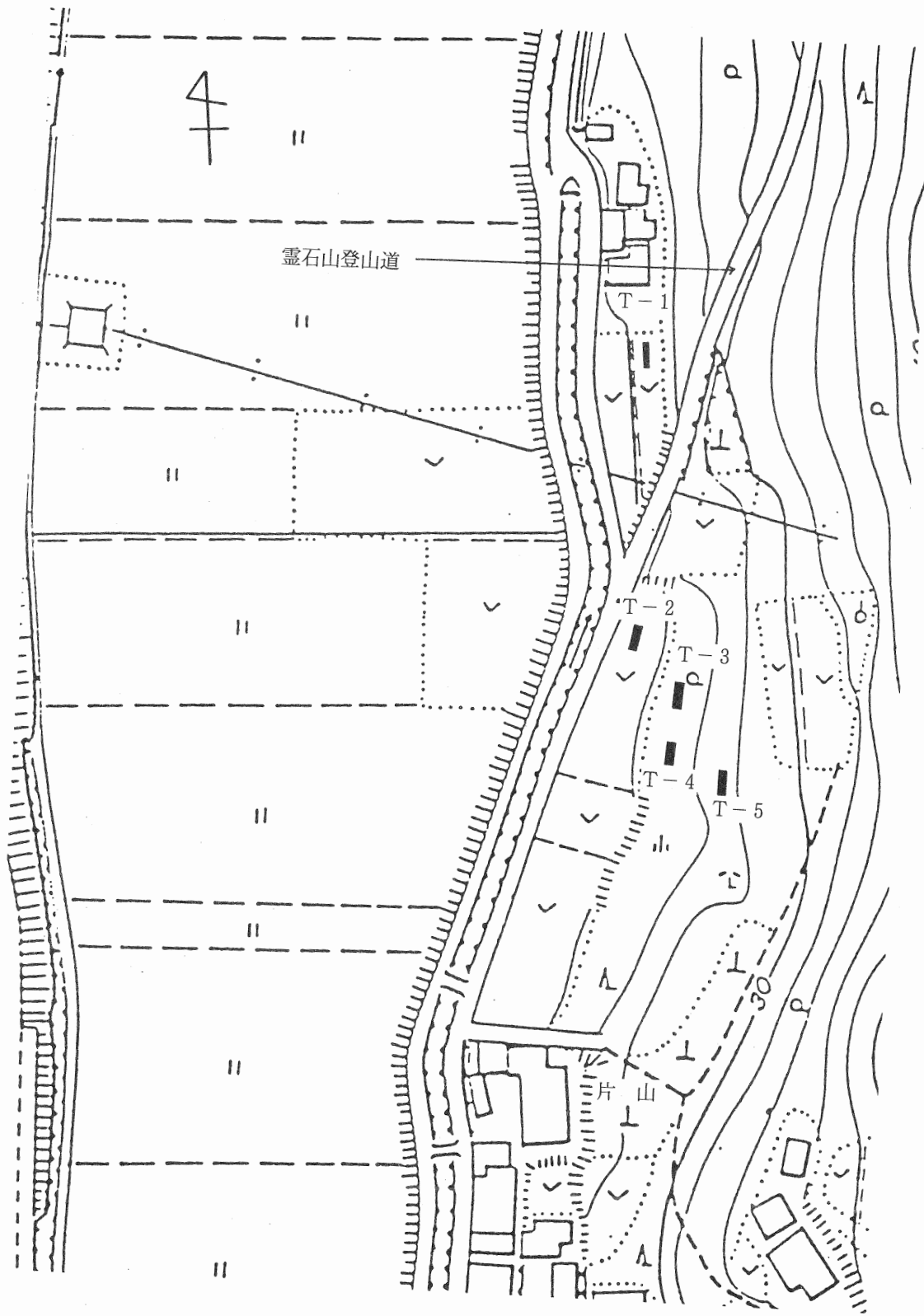
当遺跡が所在する片山集落は、天照大神が西征の際に一時滞在したと言う伝承をもつ霊石山を中心に周辺が歴史的産物の宝庫であり、特に北側支脈上には町内最大の稲常古墳群があり、集落内には県指定文化財の梵鐘を所蔵する国英神社や、霊石山の中腹には猿田彦命の霊を祀る「神之御子石」、行基作と伝える薬師如来を本尊とする最勝寺があり、さらにその境内には源頼朝の弟範頼の墓と伝える五輪塔があるなど文化的遺産に囲まれた場所である。



挿図1 片山遺跡周辺遺跡位置図

- 凡 例
- × 遺物出土地
 - 散布地・集落跡
 - ▲ 銅鐸出土地
 - 古墳群
 - ◀ 前方後円墳
 - 円墳
 - ⊗ 窯跡

- | | | |
|----------|-------------|-----------|
| 1. 郷原遺跡 | 10. 天神原古窯跡群 | 19. 下中溝遺跡 |
| 2. 万代寺遺跡 | 11. 土師百井廃寺跡 | 20. 片山遺跡 |
| 3. 牧野遺跡 | 12. 式内社売沼神社 | |
| 4. 丸山遺跡 | 13. 羽黒山妙玄寺跡 | |
| 5. 獄古墳 | 14. 瓦経出土地 | |
| 6. 郷原古墳群 | 15. 銅鉦出土地 | |
| 7. 山手古墳群 | 16. 最勝寺 | |
| 8. 稲常古墳群 | 17. 大安興寺 | |
| 9. 大平古墳 | 18. 前田遺跡 | |



挿図2 片山遺跡トレンチ配置図

S=1:1,000

4. 遺物について

今回の調査で出土した遺物は、弥生土器、土師器、須恵器でほとんどが破片であり、完形品はなかった。しかし、実測可能な土器片は25点を数える。

トレンチ番号	遺物	遺構	規模
			幅×長さ (m)
T-1	なし	なし	1.50×5.50
T-2	なし	弥生土器・土師器・須恵器	1.50×5.10
T-3	なし	土師器	1.40×4.30
T-4	土拵(?)	土師器・須恵器	1.75×4.45
T-5	土拵	須恵器	1.70×4.70

表1 片山遺跡トレンチ一覧表

表2 出土遺物観察表

出土位置	遺物番号	器種	法量 (cm)	成 形 ・ 調 整	備 考
表面採取	1	皿	復口径 12.0	やや上げ底ぎみの平底。底部から口縁部にかけて外傾し、端部は外反して丸くおさめる。内面ヨコナデ、外面ナデ調整し、底部外面は回転糸切りで仕上げる。	胎土 砂粒を含む 焼成 やや不良 色調 灰色
T-4	2	高台付 坏身	高台径 6.7	貼付高台をもつ。底部から体部にかけてやや内湾気味に外傾する。体部内面ヨコナデ調整し、底部外面は回転糸切りで仕上げる。	胎土 石英を含む 焼成 やや良好 色調 淡灰色
T-4	3	坏身	復口径 11.6	底部から口縁部にかけて外傾し、端部は外反して丸くおさめる。内外面ヨコナデ調整し、底部外面は回転糸切りで仕上げる。	胎土 長石・石英を含む 焼成 良好 色調 灰色
T-5	4	坏身	復底径 7.1	底部から体部に向かって内湾気味に外傾する。内面ヨコナデし、外面ナデている。底部外面に回転糸切りがみえる。	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 色調 灰色
T-4	5	蓋	復口径 13.1	平らな天井部から口縁部にかけて外傾し、口縁端部を方形につまみ出す。内面ヨコナデ、外面ナデ調整し、天井外面は回転糸切りで仕上げる。口縁端部外面に稜がみえる。	胎土 砂粒を含む 焼成 やや不良 色調 淡灰色
T-2	6	蓋	復口径 13.6	天井部は平坦で口縁部にかけて外傾する。口縁端部は直立する。内外面ヨコナデ調整し、天井外面は回転糸切りがみられる。外面、スス附着。	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 色調 灰色
T-4	7	坏	復底径 5.8	底部から体部にかけて内湾気味に立ち上がる。内外面ヨコナデ調整し、底部外面は回転糸切りで仕上げる。	胎土 砂粒を含む 焼成 不良 色調 灰白色
T-2	8	坏身	復底径 7.8	底部から体部に向かって内湾気味に外傾する。体部内面にナデ調整がみられるが、外面、底部内外面ともに風化のため調整不明。	胎土 砂粒を含む 焼成 不良 色調 灰白色
T-4	9	蓋	復口径 14.9	体部から口縁部にかけてやや内湾気味に外傾しながら大きく外反し、口縁端部を方形につまみ出す。内外面ヨコナデ調整。	胎土 砂粒を含む 焼成 やや不良 色調 淡褐色
表面採取	10	皿	復口径 12.6	底部から口縁部にかけて外傾しながら立ち上がり、端部は外反し丸くおさめる。内面ヨコナデし、外面ナデている。	胎土 砂粒を含む 焼成 不良 色調 黄灰色
T-2	11	鍋	復口径 23.8	外傾しながら、頸部は直角に屈曲し、外反気味に口縁端部をつまみ出す。内外面ヨコナデ調整し、体部外面にスス附着痕がみられる。	胎土 砂粒を含む 焼成 不良 色調 褐灰色
T-3	12	甕	復口径 13.2	「く」の字状に立ち上がる口縁で端部は丸くおさめる。口縁部内面ナデ、頸部内面ヘラケズリ。外面は風化がすすんでいるがナデている。	胎土 砂粒を含む 焼成 やや不良 色調 明赤褐色
T-3	13	甕	復口径 18.6	頸部はゆるやかに「く」の字状に屈曲し、口縁端部は丸くおさめる。口縁部内外面ともヨコナデし、頸部以下内面はヘラケズリ、外面はハケメ調整。	胎土 砂粒を含む 焼成 やや良好 色調 淡褐色
T-4	14	皿	復口径 12.4	体部から口縁部にかけて外傾し、端部は外反して丸くおさめる。口縁部外面はナデているが、口縁部内面、体部内外面は風化のため調整不明。	胎土 石英を含む 焼成 やや不良 色調 明赤褐色
T-3	15	甕	復口径 10.9	「く」の字状に立ち上がる口縁で端部は丸くおさめる。口縁部内外面ヨコナデし、頸部はヘラケズリを施す。	胎土 砂粒を含む 焼成 やや良好 色調 明褐色

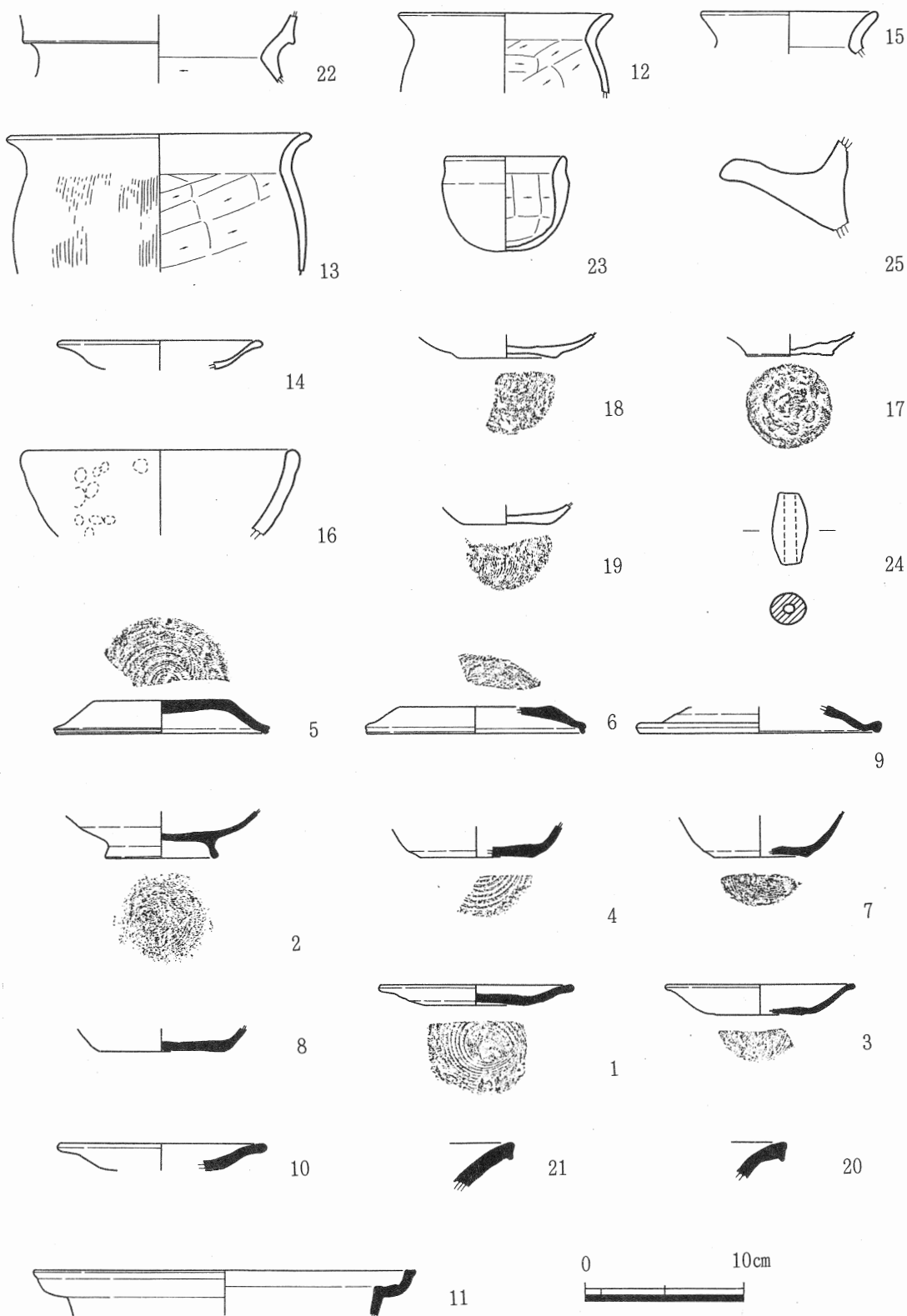


插图6 出土遺物实测图

図 版

(I ~ II)



片山遺跡全景（A地区南東から）



片山遺跡全景（B地区南東から）



T-1 (北西から)



T-3 (南から)



T-4 (北から)



T-5 (南から)

片山遺跡発掘調査報告書

発行日 1990年3月

発行者 河原町教育委員会

〒680-12

鳥取県八頭郡河原町大字渡一木277-1

TEL (0858) 85-0011

印刷 谷岡印刷

〒680 鳥取市元町126

TEL (0857) 26-2001